

# ふじみサラダボール子育て情報



「知的発達と自然」  
令和元年 11 月 20 日号  
板橋富士見幼稚園



## ひだまりのお散歩

日ごとに日差しが遠のき、秋が深まり落ち葉遊びの季節を迎えています。朝晩の寒さから、昼間の一時の日だまりは、とても心地よく感じます。お子様と一緒に、秋の一時を楽しんでみてはいかがでしょうか。

いつもと違う空間で、我が子と一緒にゆったり過ごすことは、親子共々大切な時間です。近くの公園や路地裏を散歩していると、日だまりにまったりと寝そべる猫がいたり、コンクリートの継ぎ目から、雑草が冬前の日差しをいっぱいに浴びていたりします。小さな秋を見つけて、お子さんと一緒にホッと一息するもの良いものです。



自然には人を癒す大きな力があります。それは、原色や、直角・平行がない世界だからです。ただ光に照らされて、高い木々のてっぺんから舞い散る落ち葉は、まるで子どもがはしゃぎまわる姿に似ています。子どもと、いろいろな形の葉っぱを拾い集めたり、様々な色づく葉っぱを並べてみたり、時には数えてみるのも面白いと思います。

幼児期は、時にこうした原色のない世界で、親子で感性を研ぎ澄ませる経験も、大切な心の栄養です。我が子のしたいこと、してほしいことを存分にさせてあげることが、心の教育と共に、今しきりに言われている非認知能力の体験になります。この非認知能力を、幼児期に十分に吸収した子どもは将来、高学歴、高所得者になると明確に検証されました。早期に知識を教え込むのではなく、幼児期は、自然の中で、思考や判断、表現力、深い学びと対話力、そして何よりも大切な主体的に関わる力を育み、自然と対話し、人と戯れ、遊び養うことが必要だといわれています。明日から、少し自然と対話する生活を心掛けてみてはいかがでしょうか。